

## 令和5年度 自己評価・施設関係者評価結果

本園における自己評価の結果について、下記のとおり公表いたします。この評価結果を踏まえ、今後もより良い教育・保育が提供できるよう努めて参ります。

＜令和6年5月31日 幼保連携型 みなみ認定こども園＞

- 開催日時 令和6年5月9日（木）18：30～19：30
- 開催場所 みなみ認定こども園 病後児室
- 評価委員 委員長 幾島貴也（みなみこども園父母の会会長）  
副委員長 菊野淳一（社会福祉法人北見福祉会評議員）  
委員 成中 憲（南仲町町内会会長）
- 園説明者 園長 杉浦 潤、副園長 近藤恵美
- 評価の方法について  
○本園の職員一人ひとりが、A：大変良い（4点） B：良い（3点） C：一部検討が必要（2点）  
D：改善が必要（1点）により、自己評価を行いました。  
○その後、全職員分を集計した平均値が「1.5以下をD」、「1.5～2.4をC」、「2.5～3.4をB」、  
「3.5以上をA」とし、本園としての自己評価として記入しています。
- 教育・保育目標について
  - \*いきいき遊び 強い心身をもつ子ども
  - \*他を思いやる 心豊かな子ども
  - \*自分で考え のびのび行動する子ども



評価項目		評価	評価コメント（取組状況）
理念等	「理念」や「教育・保育目標」が明文化され、周知が図られている。	B	○法人としての理念や、みなみ子ども園としての「教育・保育目標」は明文化されており、ある程度周知されているが、より意識させて、教育・保育に活かしたい。
経営状況	経営課題を明確にし、具体的な取組を進めている。	A	○法人・こども園運営を含めて、北見福祉会として中期事業計画を策定して取り進めている。 ○事業計画は毎年、成果と課題を理事会等で協議している。更に課題を明確にし、具体的な取組を進めていく。
	本年度、もしくは中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	A	
指導目標	指導計画について、毎年及び毎月ごとに反省・検討し、子ども達の育ちを第一に考え、教育・保育に活かしている。	A	○園としての反省を毎月行い指導計画を作成すると共に、年度末には1年間の反省を基に次年度の全体計画を法人として検討・修正している。また、それらを活用して教育・保育に活かすシステムが出来上がってきていることが良い評価になったと考える。今後も、より良い指導計画と実践を積み上げていきたい。
人権尊重	子ども一人一人に寄り添い、子どもが自分の思いを伝えることができるように配慮している。	B	○子ども一人一人に寄り添う教育・保育をすることが求められる。多くの保育教諭が、より向上心をもって取り組もうとしている。 ○現状の保育教諭数でいかにより良い教育・保育を実施するか、研修等を積み上げて質の向上を図りたい。
	子どもの心を傷つけたり、人格を無視するような言動をしないよう、十分配慮している。	A	
園行事	指導計画をもとに行事のねらいを定め、それが達成できるように実践している。	A	○「新型コロナ」の影響はまだ残り、行事を縮小したり参観者の人数制限をとることもあった。R6年度においては、状況を見極めながら、各種行事のねらいの達成に向けた取組を一層進めていく。
発達援助	子ども一人一人の理解を深め、受容しようと努めている。	A	○子ども一人一人の個性や家庭環境を理解し、保護者とともに子どもの成長を促すことが大切である。課題はまだあり、クラス及び園全体で、課題や指導方針を共有し、効果的な実践を進めたい。 ○連絡帳や送迎時の情報提供も行っているが、よりニーズに応える教育・保育を展開できるよう、理解や連携の仕方の改善を図っていくことが望まれる。子ども一人ひとりをしっかり見とれるような策を実践していきたい。
	子どもの言葉（幼児は行動や表情）によく耳を傾け、丁寧に対応している。	A	
	基本的な生活習慣については、家庭と連携しながら（朝夕のお話や連絡帳等も含め）、子どもの状況に応じて対応している。	A	

評価項目		評価	評価コメント（取組状況）
教育・保育内容	年齢や子どもの興味に沿った遊びを工夫している。	B	<p>○身体を使った遊びや素材を使った表現活動は、どのクラスも日頃から実践しようと努力している。</p> <p>○リズム運動やお散歩等は、特に毎日の活動に取り入れ、どのクラスも上達が見られる。年齢相応のより質の高い教育・保育、子ども達の興味を引き出す教育・保育の実践には、まだまだスキルを高める必要がある。研修を進めていきたい。</p> <p>○公開保育を始めて実施し、外部の方からご意見をいただいた。多くは褒めていただいたが、課題もあり、先生方も一層の指導力の向上を目指している。B 評定ばかりだが、向上心の表れでもあると前向きにとらえたい。</p>
	身近な自然とかかわる機会を作り、子どもの様々な興味を引き出し、自然の素材を教育・保育に活用している。	B	
	身体を使った様々な遊びを工夫して実践している。	B	
	様々な素材を使って、描いたり、作ったり、自由に表現できるように配慮している。	B	
保育環境	保育室や遊戯室、園庭等、園舎内外の整理整頓を心掛け、危険なものを放置しないなど安全に配慮している。	A	<p>○職員で分担しながら、保育環境の維持に努めている。危険な個所があれば、すぐに管理者に報告する習慣はできており、修繕も素早く対応する様意識している。</p> <p>○胃腸炎やインフルの流行もあり、感染症対策がまだ続いており、消毒作業も引き続き実施していく。</p>
	保育室やトイレ及び教育・保育用品の衛生管理に留意し、定期的に消毒している。	A	
食育等	楽しくゆったりと食事ができるように、また、個人差に応じた食事介助・指導に努めている。	A	<p>○個人差に応じた食事介助は、より意識して行うことが望まれる。コロナ対応による保育者の別室食事を終え、より目が行き届く体制になった。</p> <p>○園の畑で収穫した野菜は、できるだけその日のうちに調理して子ども達が食べられるようにしたい。子ども達は畑での作業を喜び、進んで水やりや草取りをする子もいる。畑で採れた野菜は、特段美味しいようだ。</p> <p>○給食担当者は、副園長と相談しながら行事に合わせたメニューを提供するよう努めている。子ども達は喜んで行事メニューを食べている様子がうかがえる。</p>
	給食や収穫物の調理等を通して、食材への関心や食べる意欲を育てている。	A	
	各行事に合わせたメニューを工夫して提供している。	A	
障がい保育	保護者の理解のもと、関係機関や医療機関と連携を図り、指導・援助を受けている。	B	<p>○きらり（北見市支援センター）に通う子が数名おり、担任・園長ときらり職員で情報交換をしている。様々な個性の子もおり、一層の支援が必要と感じる。</p> <p>○市教委特別支援コーディネーターやきらりの保健師等に園訪問をしてもらい、気になる子の相談や指導方法について助言を受けている。暴れたり保育室を抜け出したりする園児もいて、個に応じた指導が難しい場面もあるが、本人や保護者と話し合いを深めて対応する必要がある。</p>
	個々の障がいを理解して、教育・保育にあたっている。	B	
健康と安全	避難訓練や交通安全指導については、年間計画に基づいて実施している。	A	<p>○避難訓練は計画に基づいて毎月実施している。4年ぶりに警察署員による交通安全指導を実施出来た。お散歩の際には、子ども達と安全な歩き方や交通ルールについて確認している。</p> <p>○子どもの体調変化にはどの職員も意識している。少しでも体調不良や微熱等の症状があれば、看護師や指導保育教諭で対応するようにしている。</p> <p>○園の重大事故が一番多いのは食事と午睡時であり、マニュアルを掲示し、職員会議を通して意識付けをしている。</p>
	子どもの健康状態を把握し、体調の変化に速やかに気付くように配慮している。	A	
	食事中やお昼寝中の事故防止のため、マニュアルを基本に介助・観察を行っている。	A	
保護者支援	朝夕の送迎時及びクラスだよりや連絡帳・掲示板等を活用し、子どもの様子を伝え合うように努めている。	A	<p>○保護者とのお便り帳の活用、送迎時の保護者との情報交換等を通して、園での様子を伝えながら言葉かけをしている。</p> <p>○参観日や懇談会も復活した。子ども達の様子がわかる写真や記事を掲示し好評を得ていた。保護者の悩み・苦しみに傾聴し支援できるよう、今後もそういった機会を意図的に作っていききたい。研修も進めていく。</p>
	参観日や懇談会等を通し、保護者と共通理解を得るための機会を設けている。	A	
地域連携	地域の人々との様々な交流（学校や施設を含む）の機会確保につとめている。	B	<p>○コロナ対応が減少し、地域との行事も復活してきた。保育教諭が小学校の参観日に出席したり、地域の介護施設に訪問し屋外でご老人達に踊りを披露してきた。</p> <p>○きらりや市教委、保育課や保健師、場合によっては児童相談所との関係を一層密にしていきたい。</p>
	必要に応じ、専門機関や関係機関との連携を図っている。	A	

園としての考察	<p>○こども園としての自己評価は「Aの下」となった。(全項目の総点数を項目数で除した点数が「A」に達した。)</p> <p>○良い結果ではある。しかし、より緊張感を持って園の運営を進めていきたい。</p> <p>○教育・保育については、本園の教育・保育目標に基づき、指導計画をベースとした実践を心掛けていきたい。</p> <p>○子どもの健康と安全については、配慮している。また、保護者との情報共有は、送迎時のお話やお便り帳で行っており、保護者支援に繋がっていると考える。気になる子の指導を含め、一人一人に寄り添った教育・保育に関しては、より配慮が必要であり、今まで以上に子どもの気持ちを受容していくことが望まれる。研修会等を活用して、教育・保育の質の向上に努めていく。</p> <p>○コロナの影響は減少したが、他の感染症も含め、油断はできない。令和5年度は、感染性胃腸炎が園で流行り、保健所介入となっている。気を緩めず、子ども達の安全を守りたい。</p> <p>○小学校との連携を深めてきている。参観日や各行事等での相互訪問、公開保育、綿密な引継ぎ等を進めてきた。今後は、幼保小連携の取組を進めていきたい。</p>
---------	--

評価委員からのご意見・ご質問等	<p><b>&lt;自己評価の結果に関するご意見・ご質問&gt;</b></p> <p>○小学校との連携とあるが、具体的にどのような連携があるのか。</p> <p>⇒年長が小学校に入学する際、年長担任と小学校教諭で綿密に引継ぎを行い、子ども達がより安心して小学校に入学できるように配慮している。また、近年は、園と小学校とのカリキュラムの接続性が課題となっており、その取組を進めている。</p> <p>○小学校でも不登校が増えている。障がいを持つ子どもも増えており、それが不登校の引き金になる事もあるようだ。小学校との連携がより重要になってくると考えている。</p> <p>○畑の作物を食べるなど、食育の取組も素晴らしい。</p> <p>○「教育・保育」の項目がすべてBとなっている。公開保育でも様子を見せてもらったが、あれだけ素晴らしい取組をしているのに、Aにならないのはなぜでしょうか。</p> <p>⇒現状で良いと思うより、よりよい教育保育を目指すための向上心ととることができる。改善していく部分もあり、今後の先生方の向上心に期待している。</p> <p><b>&lt;公開保育の結果に関するご意見・ご質問&gt;</b></p> <p>○素晴らしい保育をしていると感じる。先生方の動きも、子ども達の動きも良かった。小学校入学前にここまでできていることに、自分たちが親の時代との違いを感じた。</p> <p>○先生方は緊張していましたか。</p> <p>⇒緊張はあったと思います。しかし、いつもの姿をみてもらおうと話してあり、その通りにできたと思う。緊張感をもって教育保育に向かうことも必要だと感じているし、それが向上心にもつながると思う。</p> <p>○普段から実践していないと、あのような良い公開保育にならないと感じている。先生方の動きが良かった。</p> <p>⇒リズム運動も見てもらったが、昨年度は法人としてリズム運動の全体研修会を行った。先生方の動きに活かされていると思う。</p> <p>○子ども達が楽しむためには、先生方が楽しく実践することが重要だと思っている。みなみの先生方も楽しそうに動いていたと感じている。</p> <p>○裸足教育の良さが出ていた。</p> <p>○素晴らしい公開保育だったので、映像を公開するなどの取組をしても良いのではないかな。</p> <p>⇒映像には顔も映るので、難しい部分もある。</p>
-----------------	---